

オプション検査料金一覧表 ※表示価格はすべて税込価格となります。

1. 画像診断・内視鏡・生理機能検査

各種エコー検査や内視鏡など、主に医療機器を使用する検査項目です。

検査項目	検査の意義・目的	料金(税込)
肺機能検査	肺の容積や空気の出し入れのしやすさを調べ、慢性閉塞性肺疾患(COPD)や喘息などを判定します。	3,000 円
喀痰検査	痰に含まれる細胞を調べ、肺がん(特に太い気管支にできるがん)のリスクを早期に発見します。	3,300 円
頸動脈超音波検査	首の血管の動脈硬化や詰まり具合(プラーク)を測定し、脳梗塞や心筋梗塞のリスクを評価します。	5,800 円
乳房超音波	超音波で乳房内のしこり(腫瘤)の有無や性質を調べます。若年層や高濃度乳房の方に適しています。	5,000 円
腹部超音波	肝臓、胆嚢、膵臓、脾臓、腎臓の様子を観察し、脂肪肝、結石、腫瘍などの病変を検出します。	5,500 円
胃 X 線検査 (バリウム)	造影剤を飲み、胃全体の形状や粘膜の凹凸を X 線で撮影することで、胃がんや胃潰瘍をスクリーニングします。	13,200 円
胃内視鏡検査	カメラを挿入して胃や食道の粘膜を直接観察します。微細な早期がんや炎症を発見しやすく、組織採取も可能です。	22,000 円
大腸内視鏡検査	肛門から内視鏡を挿入し、大腸全体の粘膜を直接観察することで、大腸がんやポリープ、炎症を見つけます。	32,000 円

## 2. 血液・検体検査(甲状腺・胃疾患リスク等)

甲状腺機能や、胃がんリスクなどを調べるための検査項目です。

検査項目	検査の意義・目的	料金(税込)
便潜血 (2日法)	2日分の便を採取し、目に見えない血液の混入を調べることで、大腸ポリープや大腸がんのリスクをスクリーニングします。	1,600 円
甲状腺超音波検査	超音波で甲状腺の大きさやしこり(結節)の有無を調べ、バセドウ病や橋本病、甲状腺がんを診断します。	3,600 円
甲状腺検査 (FT3, FT4, TSH)	血液中の甲状腺ホルモン量を測定し、ホルモン分泌の過不足(過剰による動悸、不足による倦怠感など)を評価します。	6,200 円
甲状腺セット (超音波+甲状腺検査)	甲状腺の「形・しこりの有無」と「ホルモン機能」を総合的に測定し、病気のリスクを包括的に調べます。	9,000 円
ペプシノーゲン	血液中の酵素を測定し、胃粘膜の萎縮度(胃がんになりやすい状態かどうか)を判定します。	3,000 円
ヘリコバクターピロリ抗体 (血中)	胃炎や胃潰瘍、胃がんの主な原因とされる「ピロリ菌」に現在または過去に感染しているかを血液から調べます。	3,300 円
ABC 検診	「ペプシノーゲン(胃粘膜萎縮度)」と「ピロリ菌抗体」を組み合わせ、将来胃がんになるリスクを A~D の4段階で分類します。	5,500 円

### 3. 腫瘍マーカー検査(単体)

がん細胞が作る特定の物質の血液中濃度を測定し、がんのリスクをスクリーニングする検査です。

検査項目(対象臓器)	検査の意義・特徴	料金(税込)
<b>PSA</b> (前立腺)	前立腺がん極めて特異性が高く、男性の早期前立腺がんの発見に有効なスクリーニング指標です。	2,600 円
<b>CA19-9</b> (膵臓・大腸・胃 など)	発見の難しい膵臓がんや胆道がんで高い陽性率を示すほか、胃がんや大腸がんでも上昇します。	2,600 円
<b>CEA</b> (大腸・胃・肺・乳房 など)	消化器系がん(大腸・胃)の代表的なマーカーで、呼吸器や乳腺など幅広いがんにも反応します。	2,600 円
<b>CA72-4</b> (胃 など)	胃がんや卵巣がんでよく上昇し、CEA や CA19-9 と併用されることで診断の精度を高めます。	2,600 円
<b>SCC</b> (食道・肺・子宮頸部など)	食道、肺(扁平上皮がん)、子宮頸部などの「扁平上皮細胞」から発生するがんで上昇しやすい指標です。	2,600 円
<b>CA-125</b> (卵巣・子宮など)	卵巣がんをはじめとする婦人科系がんで高い陽性率を示します(子宮内膜症など良性疾患でも反応)。	2,600 円
<b>DUPAN2</b> (膵臓・胆道など)	CA19-9 が陰性になる特定の血液型(ルイス陰性)の膵臓がん・胆道がんスクリーニングを補完します。	2,600 円
<b>Span-1</b> (膵臓・胆道など)	膵臓がんや肝胆道系がんで高い検出率を持ち、CA19-9 などと併用することで診断を強固にします。	2,600 円

検査項目(対象臓器)	検査の意義・特徴	料金(税込)
<p style="text-align: center;"><b>AFP</b> (肝臓)</p>	<p>原発性肝がんのリスク判定に用いられる代表的なマーカーです(慢性肝炎や肝硬変でも変動あり)。</p>	<p style="text-align: center;">2,600 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>PIVKA-II</b> (肝臓)</p>	<p>肝がんの高い特異性を持ち、AFPとは異なる機序で上昇するため、AFPとの併用で肝がんの検出率が向上します。</p>	<p style="text-align: center;">2,600 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>シフラ</b> (肺など)</p>	<p>肺がんの中でも特に「肺扁平上皮がん」に対して感度が高く、早期発見や再発監視に用いられます。</p>	<p style="text-align: center;">2,600 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>NSE</b> (肺など)</p>	<p>進行が極めて速いとされる肺の「小細胞がん」のスクリーニングや、神経芽細胞腫の検出に有用です。</p>	<p style="text-align: center;">2,600 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>CA15-3</b> (乳房)</p>	<p>乳がんの特異性の高いマーカーで、乳がんのリスクや、治療後の経過観察・再発チェックに活用されます。</p>	<p style="text-align: center;">2,600 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>抗 p53 抗体</b> (食道・大腸・胃など)</p>	<p>がん化初期から反応するため、比較的「早期のがん(食道・大腸・胃)」での検出に強みを持つ新しいマーカーです。</p>	<p style="text-align: center;">2,800 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>ProGRP</b> (肺)</p>	<p>肺の「小細胞がん」に対する特異性と感度が非常に高く、NSEよりも早期の段階で上昇を捉えやすい特徴があります。</p>	<p style="text-align: center;">2,800 円</p>
<p style="text-align: center;"><b>HE4</b> (卵巣など)</p>	<p>早期卵巣がんにおける感度が高く、良性疾患(子宮筋腫など)での誤上昇が少ないため、婦人科検査を高度化します。</p>	<p style="text-align: center;">3,000 円</p>

#### 4. 腫瘍マーカーセット料金表

各部位のがんリスクを総合的に調べるセット検査の料金と、含まれる項目の一覧です。(※金額はすべて税込)

		胃	大腸	膵臓	食道	肝臓	肺	乳房	婦人科
セット 料金	-	6,500 円	5,000 円	6,500 円	5,000 円	5,000 円	10,000 円	5,000 円	7,500 円
PSA	2,600	×	×	×	×	×	×	×	×
CA19-9	2,600	○	○	○	×	×	×	×	×
CEA	2,600	○	○	×	×	×	○	○	×
CA72-4	2,600	○	×	×	×	×	×	×	×
SCC	2,600	×	×	×	○	×	○	×	○
CA-125	2,600	×	×	×	×	×	×	×	○
抗 p53 抗体	2,800	×	×	×	○	×	×	×	×
ProGRP	2,800	×	×	×	×	×	○	×	×
DUPAN2	2,600	×	×	○	×	×	×	×	×
Span-1	2,600	×	×	○	×	×	×	×	×
AFP	2,600	×	×	×	×	○	×	×	×

